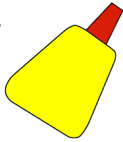
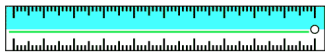


■ 必要な道具

- 接着剤 (木工用ボンド)



- 定規



- カッターナイフ



- ピンセット

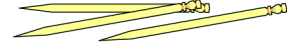


- ボールペン



- つまようじ3本

(1本は接着剤を付けるときに使います。)



※ カッター使用の際は、床が傷つかないようカッターマットを敷いて使いましょう。

■ 記号の意味

- 目じるし線
- 切り取り線
- - - 山折り線
- 谷折り線

表のりつけ位置

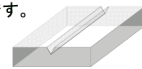


裏のりつけ位置



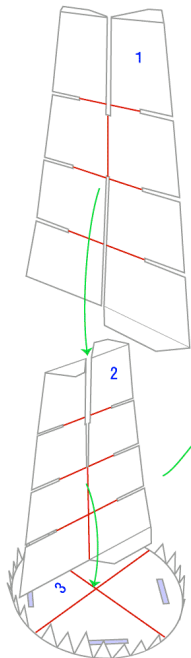
— 折り目しるし線
折り曲げる場所にボールペンでスジ(図)を入れるための目じるしです。

切り取り位置

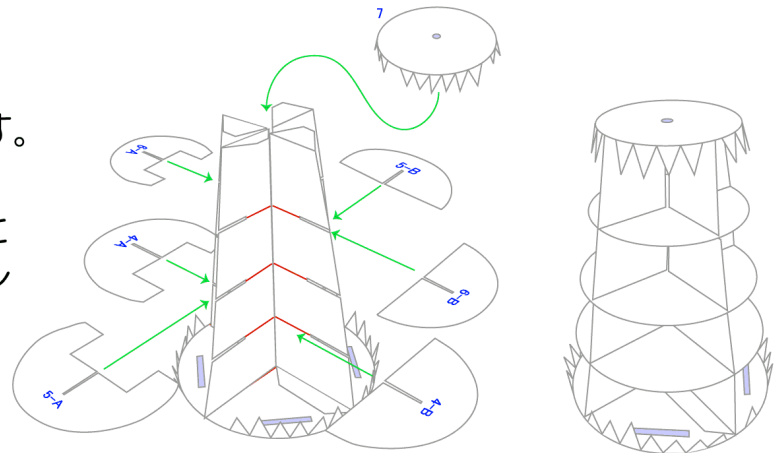
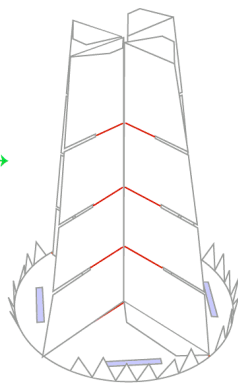


本体の作り方

1. パーツ3の赤い目じるし線に合わせて、パーツ2を取り付けます。

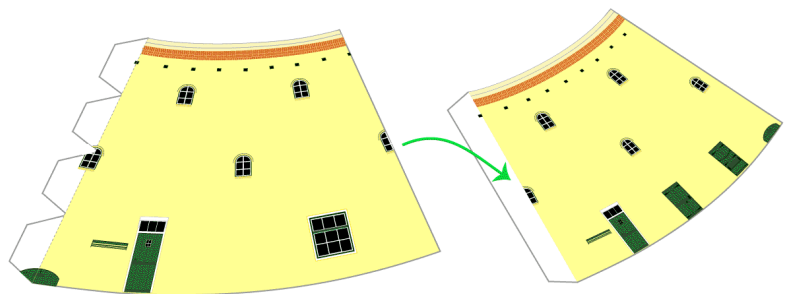


2. パーツ1をパーツ2とクロスするように差し込んで取り付けます。

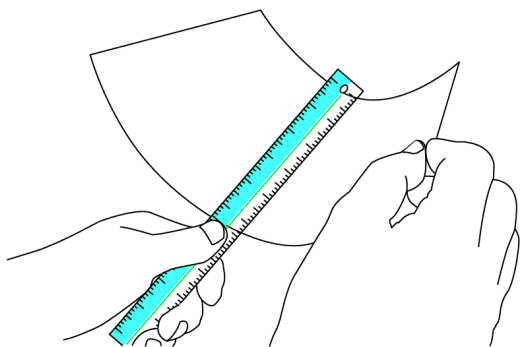


3. 出来上がった骨組みに4-Aから6-Bのパーツを取り付けます。ノリシロのところは、骨組みに差し込んだ後、付けて下さい。

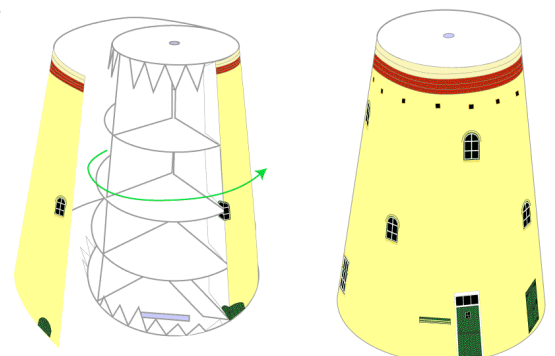
4. 8と9のパーツをつなぎ合わせます。



5. つなぎ合わせたパーツを裏返し、定規を当ててゆっくり引張ると紙にカーブが付きます。



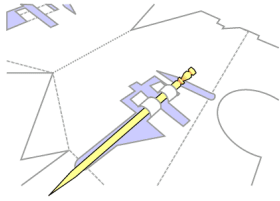
6. 骨組み1または2のパーツにノリシロを貼り合わせ、十分に接着してから壁を巻いてゆきます。壁は少し余裕のある長さですので、余った部分は重ねて貼りあわせて下さい。



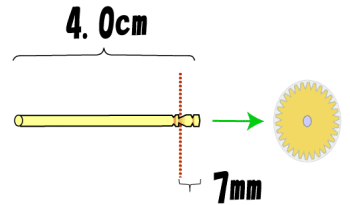


風車小屋の作り方

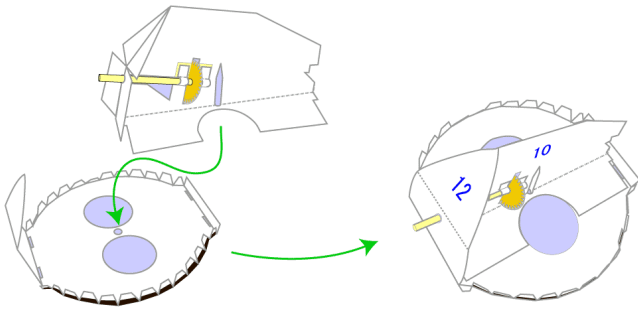
7. パーツ10にある図の位置の部分につまようじを当て、上から強く押さえて丸みをつけます。



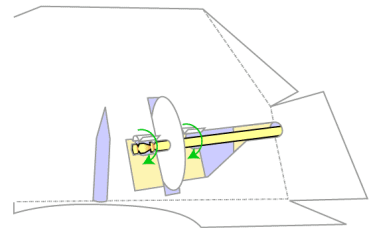
8. つまようじを4.0cmの長さに切り、赤線の位置にノリをつけて、パーツ11を差し込みます。



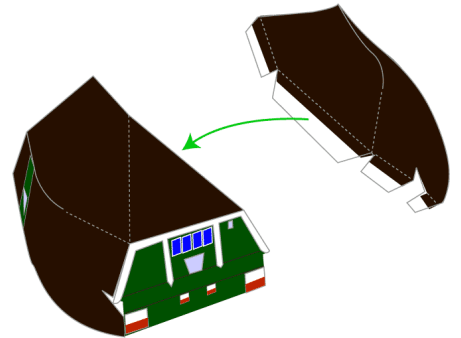
10. 11と12のパーツを接着します。切り抜いた円形の枠を合わせるように注意をします。



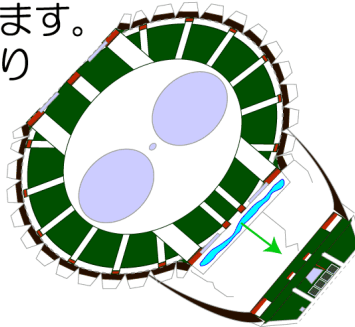
9. パーツ10を2つ折りに貼り合わせ、ノリがつまようじに付かないよう注意しながら図の矢印の方向へ紙を巻きます。



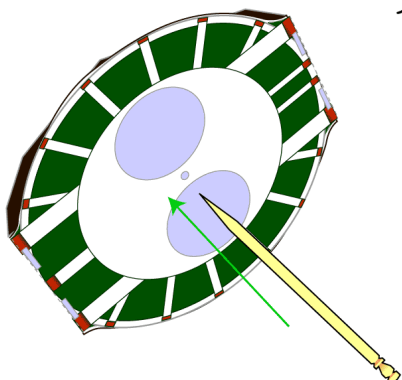
11. 13と14のパーツを組み立て、つなぎ合わせます。



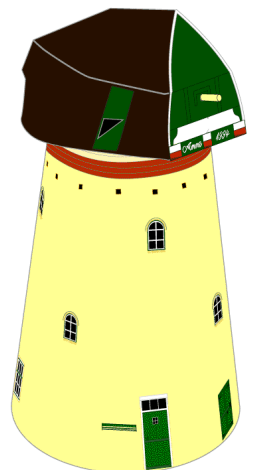
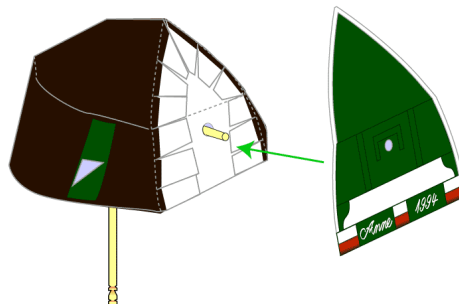
12. 作り方10で組み立て風車小屋の骨組みに屋根を取り付けます。骨組みの後ろから順に貼り合わせてゆきます。



13. つまようじの先にノリをつけて、骨組みの中心に取り付けます。



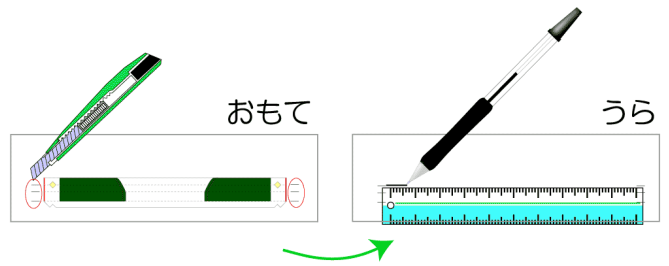
14. 小屋に15のパーツを取り付けます。



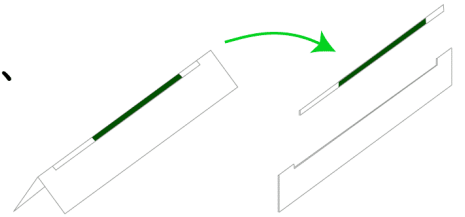


柱と羽根の作り方

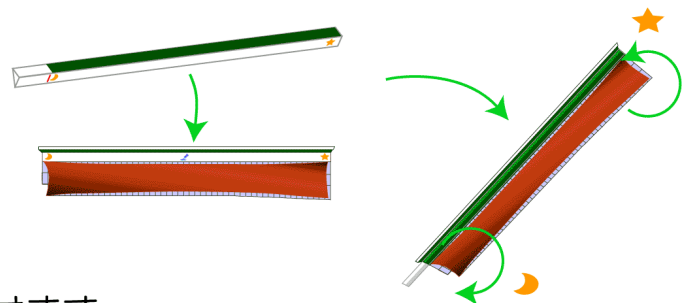
15. 柱になるパーツを全て組み立てます。まず、折り目しるし線にカッターで切り込みを入れ、紙を裏返して切り込み部分に定規を当てて、少し強めにボールペンでスジを入れると、折り曲げやすくなります。



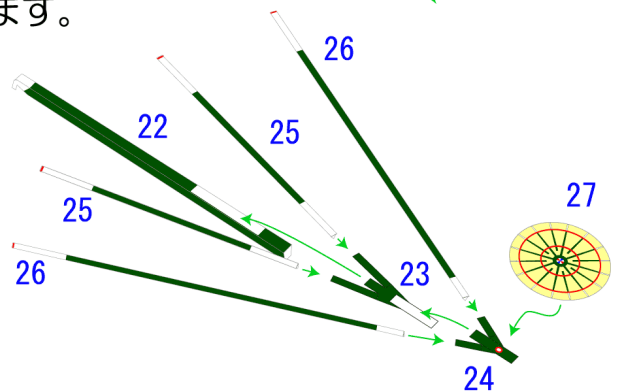
16. 33・34のパーツは、裏にノリを付けて2つ折りにした後、柱部分だけ切り離します。



17. 羽根は28→30の柱、29→31の柱に取り付けます。★と☾のマークの位置にご注意下さい。取り付け後、★マークの羽根を手前に、☾マークの羽根を奥に軽く曲げて、少し角度を付けます。

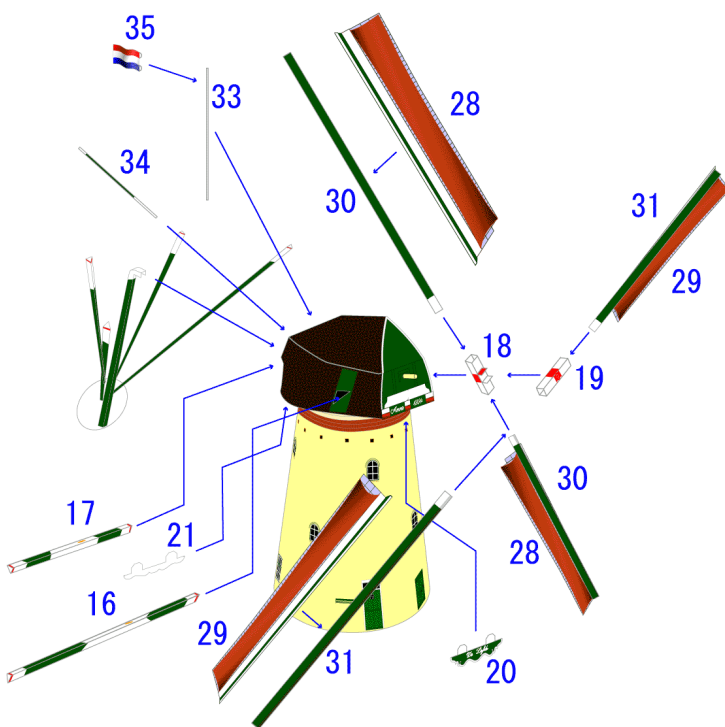


18. 22～27のパーツを図のように取り付けます。



19. 各パーツを本体へ取り付けます。

※ 16と17のパーツは★印を上にして。33のパーツは赤い目じるし線に合わせて取り付けてください。34のパーツは切り抜いた小さな窓に差し込みます。



20. 完成！

※ 羽根が本体と接触してうまく回らないときは、羽根の軸、根元のところに32のパーツを「くさび」として差し込み、調整ください。

